



高知県 佐川町 視察報告  
～次期総合計画策定等にかかる手法獲得に向けて～

2019年2月12日



# 視察目的、視察日、視察メンバー

目的：次期総合計画策定に向け、現行計画の課題解決につながる策定手法の獲得のため

日程：平成30年11月21日（水）

メンバー：

	部	課	役職	氏名
1	企画部	企画政策課	課長	高橋 陽一
2	企画部	企画政策課	主任主事	山下 道治
3	企画部	企画政策課	主任主事	三澤 功一
4	企画部	企画政策課	主任主事	赤崎 平
5	企画部	広報戦略課	主査	原田 智香
6	町民部	協働文化推進課	主任主事	岡野 達也

## ①寒川町の状況

寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」の課題

## ②高知県佐川町とは

概要

佐川町へ視察した理由

## ③視察の報告

総合計画策定時について

総合計画策定後の状況について

住民活動視察について

良かった点、悪かった点

## ④見えてきた総合計画の方向性

# ①寒川町の状況

## 寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」の課題

- ①行政運営における重点施策や優先度が分かりにくい  
(総花的)
- ②社会経済環境の変化に十分に対応できていない
- ③住民満足度への寄与度が分かりにくい
- ④町職員が十分に活用していない
- ⑤個別計画との関係が分かりにくい
- ⑥町民の関心が低い

## ②高知県佐川町とは

### 概要（平成28年時点）

- 人口：13,114人
- 世帯：5,236戸
- 面積：約100km<sup>2</sup>（うち、70km<sup>2</sup>以上が森林）
- 職員数：112名

#### — 著名人 —



まきの ひとしなろう  
牧野宮太郎

1862年-1957年

植物学者



たなかみつあき  
田中光顕

1843年-1939年

政治家

#### — 特産物 —



司牡丹：1603年創業。  
香りと味わいが絶妙な淡  
麗辛口の日本酒。

新高梨：高知県を代表す  
る果物。赤ん坊の頭ほど  
大きく、味は非常に繊細。



佐川茶：寒暖差の大きい  
気候が栽培に適し、味・  
香りとも定評がある。

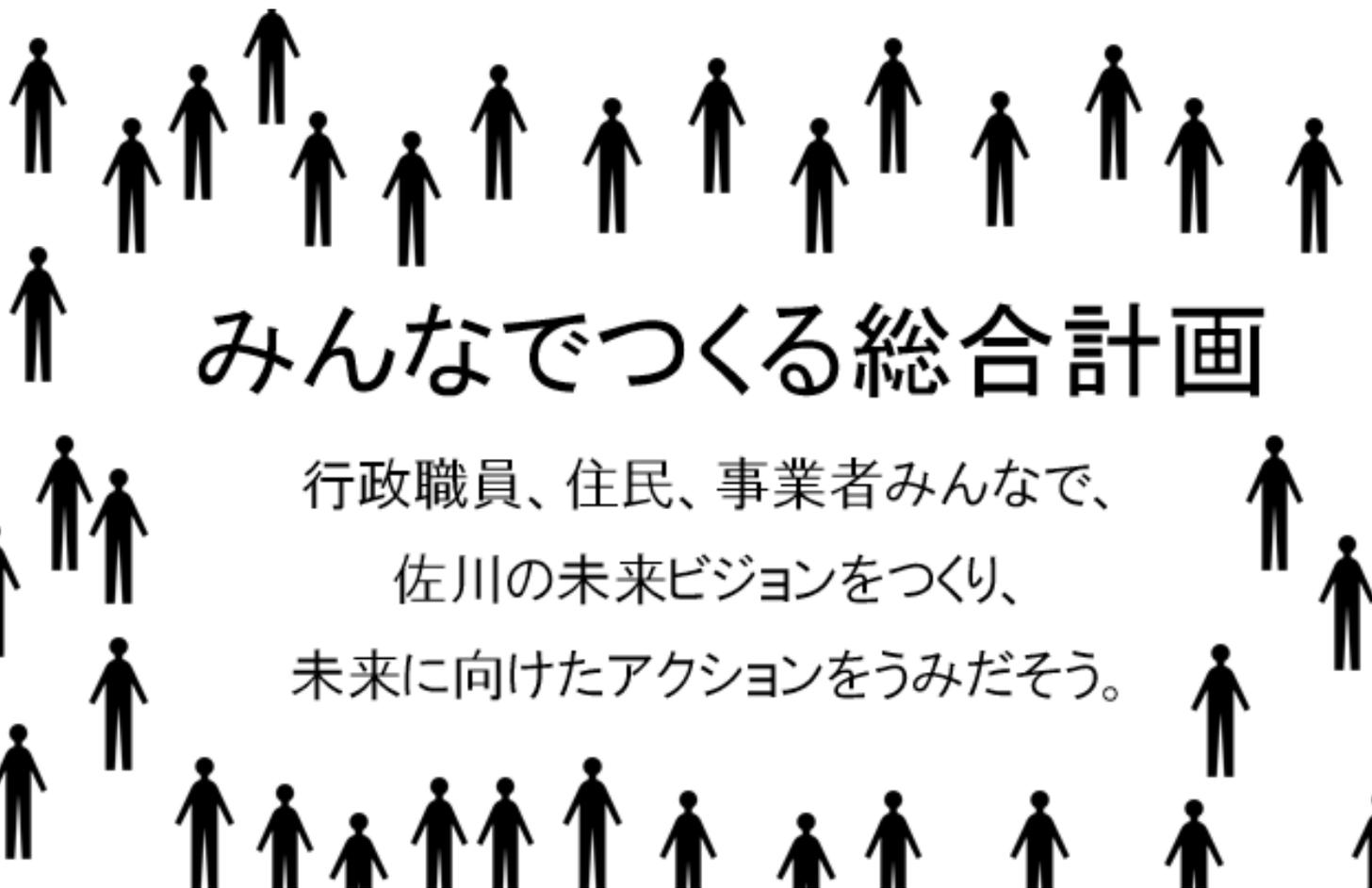


## ②高知県佐川町とは



## ②高知県佐川町とは 佐川町を視察した理由 1

### 総合計画の方針



ワークショップメンバーは、  
総人口13,114人のうち、353人  
(寒川町に置き換えると約1,300人)

## ②高知県佐川町とは 佐川町を視察した理由 2

総合計画策定を通して、

①まちに必要な人材を発掘し、

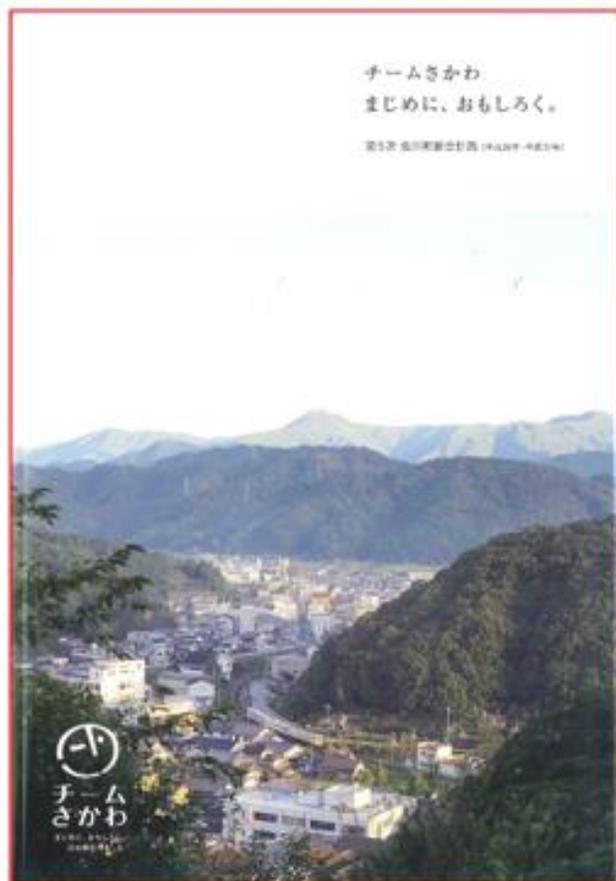
②支援することで、

このまちから新しい動きが始まっています。

- ・自伐型林業への先進的な取組がはじまり、全国各地の自治体から注目を集め、林業従事の移住希望者が年々と佐川町に集まっている。
- ・デザインとプログラミングを学ぶ授業「佐川ロボット動物園」が開始
- ・離島経済新聞社の「うみやまかわ新聞」を尾川小学校5、6年生が制作
- ・農林業×デジタル×デザイン拠点「さかわ発明ラボ」開講
- ・町内福祉事務所が製造したオリジナル商品「勉強したくなる机」がグッドデザイン賞、カンヌライオンズ（フランス）ほかを受賞
- ・佐川町出身の植物学者・牧野富太郎氏ゆかりの牧野公園の整備、桜の名所としての再生が始まっている。 など

## ②高知県佐川町とは 佐川町を視察した理由 3

本冊



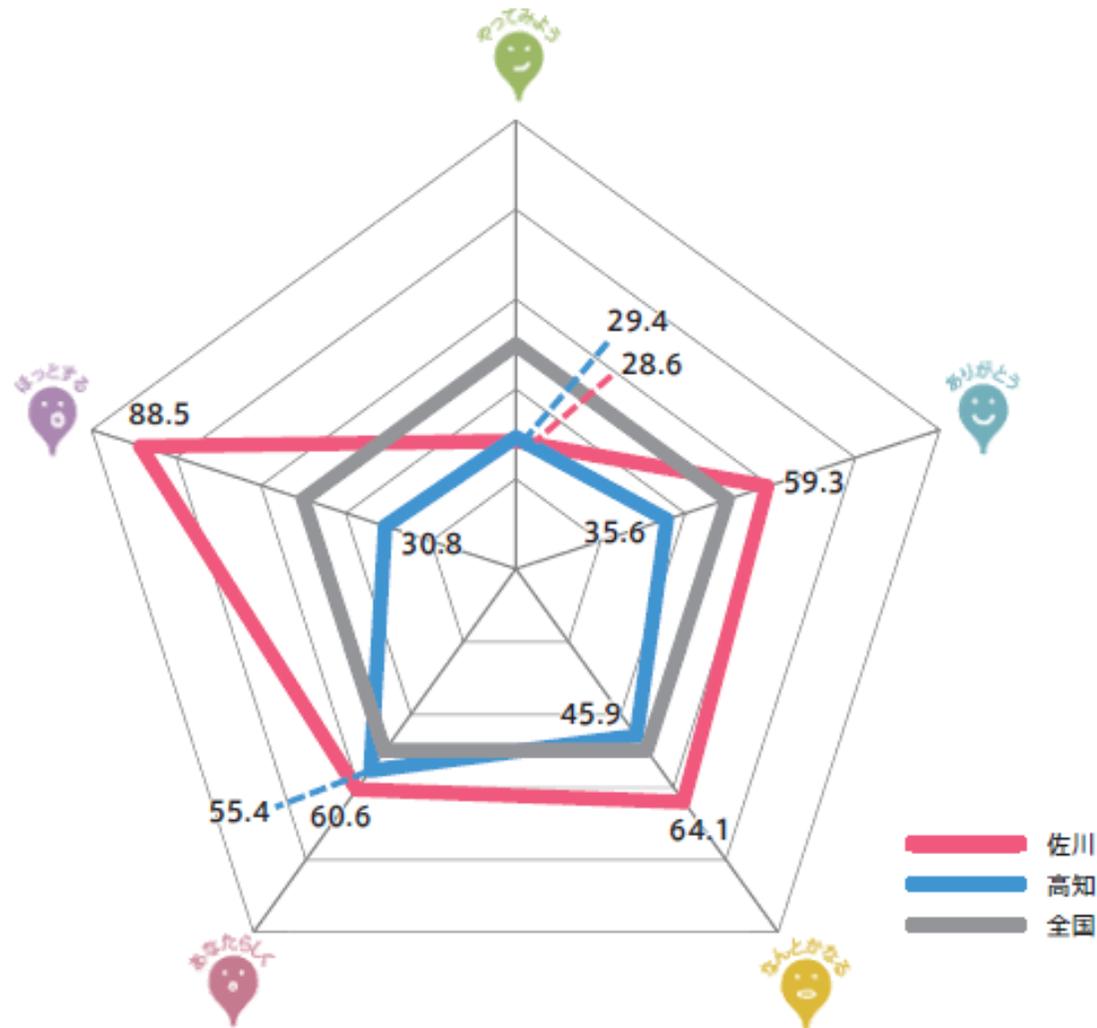
別冊



町民にわかりやすく伝えるため、別冊を作成し、全世帯へ配付。  
(転入者にも手続き時に配付している)

■ 住民幸福度を見える化し、課題を浮き彫りにした





相対的にやってみよう指標が低かったため、  
 やってみよう指標を上げることが、町民の幸せに  
 つながると分析し、施策を構築した。

### ■ 一人ずつ対話し、想いを集める



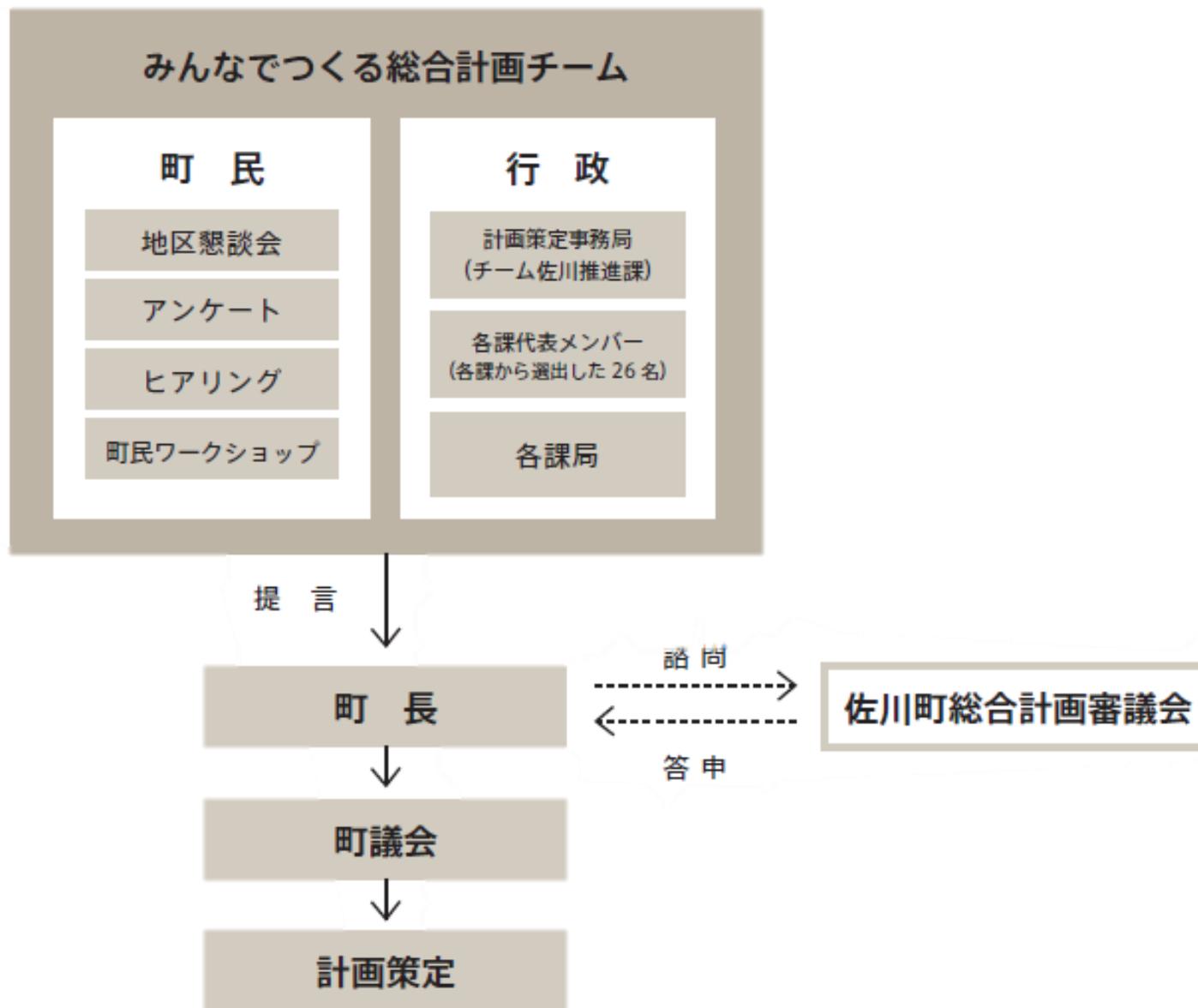
- 言葉にならない思いまで深く汲み取る。
- 総合計画づくりの仲間づくり
- まちづくりの人材発掘
- まちづくり活動の把握

# 佐川町を視察することで獲得できると思われる事項

- 町民がまちづくりを「じぶんごと」として捉え、行動に移すための手法
- 策定に住民を巻き込む手法
- 住民意見を総合計画へ反映する手法
- 総合計画策定を通して、職員の学びと成長の機会とする手法
- 住民の幸福度を指標とする手法
- 進行管理の手法
- 総合計画策定後の住民活動の状況確認                      など

# ③視察の報告

## 総合計画策定の体制



## ③視察の報告

### 職員ワークショップ

第3回 役場職員ワークショップ 8/28,29 (未来アクションづくり)



- データ分析と課題構造化
- 未来アクションづくり
- 施策立案

住民WS前の「未来アクションづくり」と  
住民WS後の「施策立案」においては、1泊2日で実施！

# ③視察の報告

## 町民ワークショップ

しあわせ会議 2/11



未来づくりサロン:次世代(全5回:6/10,11,12,15,7/7)



# ③視察の報告

## 町民ワークショップ



# 総合計画策定後の状況について

## 集落活動センター

facebook

メールアドレスまたは電話番号 パスワード

ログイン

アカウントを忘れた場合

集落活動センターくろいわ

集落活動センターくろいわ (高知県佐川町)  
@kuroiwa.iki2

ホーム  
投稿

いいね! シェア 編集を提案 ...

メッセージを送る

このページの投稿を検索

地域団体

投稿

集落活動センターくろいわ (高知県佐川町) さんがfairypittaさんの投稿をシェアしました。  
12月6日 20:20

設計段階から地域の方々と話し合って建てられた!



地域活動支援員  
(常駐 ※国庫補助あり)



## チーム佐川 監督メッセージ

No.42

～ひとりごと・つぶやき・ボヤキ～

### 「チームさかわの日」

4月8日は「チームさかわの日」のイベントを開催し、一年間佐川町を盛りあげていただいた団体、個人の方々に感謝の気持ちを込めて表彰を行いました。健康福祉センター「かわせみ」を会場に開催し、赤ちゃんから、小学生・高校生、老人クラブの方々まで幅広くご参加いただき、楽しく表彰式を進めることができました。このイベントは、総合計画別冊版「みんなでつくる総合計画」に載っている25のアクションに関連した活動を行い、幸せなまちづくりを実践していただいた皆さんを「まじめに、おもしろく」表彰させていただく内容となっています。尾川地区

の素晴らしさについて体験を踏まえて新聞にしてくれた「尾川小中学校」の子供達や加茂地区で「子ども食堂」を開催していただいている加茂子ども食堂の皆さんなど、たくさんの活動が佐川町を幸せに、元気してくれました。栄えある「チームさかわ大賞」は斗賀野地区で長年にわたり、子ども達に田植えなどを教えて下さっている眞辺誠男さんが受賞されました。地道な活動で地元の子供達の育ちを支えていただいた功績は絶大であり、支えていただいた奥様の典子さんにも心から感謝の気持ちでいっぱいになりました。佐川町は多くの皆さんに支えていただき、大変幸せなまちです!

チーム佐川 監督 堀見和道(町長)

〇月〇日 晴れ 涼 堀見和道

# 住民活動の視察 1



## さかわ25の未来像「まちまるごと植物園」

■庭先に花を植えたり、景観をきれいにしたり、個々人でもできる活動で町全体を植物園にしようという施策。

■植物学の父・牧野富太郎博士が生まれたという背景があり、**ワークショップの中でも植物への関心が高かった。**

■**施策の核として**、桜の名所として有名な牧野公園で、桜の時期だけでなく四季を通じて楽しんでもらえる公園を目指して**住民活動として植栽ボランティアが活動している。**

# 住民活動の視察 2

## 植栽ボランティア（はなもりC-LOVE）の概要

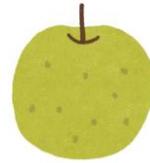
- 活動は毎週水曜の9：00～12：00
- 町の牧野公園リニューアル事業担当者の指導のもと毎週20人弱の人たちが集まり活動する
- モットーは“楽しみながら自由に参加できる”



ワークショップに参加した方も多く

- 最初はこんなものを作っても何も変わらないんじゃないかと思った
- 実施計画を作ることも大事
- 自分が楽しんで、それが来る人を楽しませて、町のためにもなるなんて、こんないいことはないでしょ

# マーケティングの視点から



佐川町 と 佐川町民



# マーケティングの視点から

- 全職員・全町民での総合計画を策定するには



高知市 ひろめ市場



# 佐川町を視察した結果

佐川町を視察することで獲得できると思われる事項毎に感想を取りまとめました。

- 町民がまちづくりを「じぶんごと」として捉え、行動に移すための手法
- 策定に住民を巻き込む手法
- 住民意見を総合計画へ反映する手法
- 総合計画策定を通して、職員の学びと成長の機会とする手法
- 住民の幸福度を指標とする手法
- 進行管理の手法
- 総合計画策定後の住民活動の状況確認 など

# 佐川町を視察した結果

---

- 町民がまちづくりを「じぶんごと」として捉え、行動に移すための手法

## 【良かった点】

- ・表彰などを通じて既存の活動が「素晴らしいまちづくり」に繋がっていることを見える化することで、活動の活性化を図っている。
- ・住民の声や活動から地区ごとに整備された集落活動センターが様々な団体の活動拠点となっており、各団体、各地区の交流（切磋琢磨）を生んでいる。

## 【悪かった点】

- ・若い世代の住民活動は活発と呼べるレベルにはなっていない。

## 【次期総合計画策定に向けて】

- ・既存の活動がまちづくりにつながっていることを見える化する。
- ・まちづくり活動を活発にするために、どんな支援等が必要か把握する。

# 佐川町を視察した結果

---

## ■ 策定に住民を巻き込む手法

### 【良かった点】

- ・丁寧な個別ヒアリングにより協力者を確保していた。
- ・いただいた意見をどのように反映したのかフィードバックしていた。

### 【悪かった点】

- ・今回の視察では特に感じられなかった。

### 【次期総合計画策定に向けて】

- ・個別ヒアリングを行うことで、数珠つなぎ的に協力者を確保する。
- ・企業との連携も視野にいれ、商工業関係者にも個別ヒアリングを行う。

# 佐川町を視察した結果

## ■ 住民意見を総合計画へ反映する手法

### 【良かった点】

- ・ 総合計画 = 「住民意見の積み上げ」となっている。
- ・ 住民が「やりたい」ことを集めた計画となっており、住民参加のハードルが低くなっている。
- ・ 分野別、地区別、年齢別にワークショップを数回開催し、数えきれないほどの意見を、住民等が班ごとに意見を取りまとめていた。

### 【悪かった点】

- ・ パートナーとして外部委託し、ワークショップなどの運営をしていたが、多額の費用がかかっていた。

### 【次期総合計画策定に向けて】

- ・ 「住民がやりたいこと」と「行政がやるべきこと」の整理が必要。

# 佐川町を視察した結果

## ■ 総合計画策定を通して、職員の学びと成長の機会とする手法

### 【良かった点】

- ・ コアメンバー（26名）には、学びと成長の機会となった。
- ・ コアメンバーを町民ワークショップのファシリテーターとすることで、能力向上が図られた。

### 【悪かった点】

- ・ コアメンバーが得たものを実務で発揮しているかは不透明。
- ・ コアメンバーがいることによって、他の職員が疎外感を抱いた。

### 【次期総合計画策定に向けて】

- ・ 現総合計画の振り返りや各指標による現状分析も含めて、策定初期から全ての職員が作業を行うことで、「チームさむかわ」による総合計画の浸透、組織目標のさらなる共有化を図る。

# 佐川町を視察した結果

---

## ■ 住民の幸福度を指標とする手法

### 【良かった点】

- ・ 「高座」のころ。の目指す方向性（非地位財）とマッチしている。
- ・ 全国の自治体との比較ができる。

### 【悪かった点】

- ・ 幸福度指標と各施策・事務事業の因果関係が不透明

### 【次期総合計画策定に向けて】

- ・ 幸福度指標を計画においてどのように位置づけるべきかや幸福度の考え方をどう施策構築につなげていくべきか検討を進めていく。

# 佐川町を視察した結果

## ■ 進行管理の手法

### 【良かった点】

- ・ 特になし

### 【悪かった点】

- ・ 策定後2年経ってから進行管理票を作成している。
- ・ 現在作成している進行管理表は、特徴のあるものではない。
- ・ 計画と予算の紐づけが弱く、成果指標の設定もないため、費用対効果という視点での進行管理ができない。

### 【次期総合計画策定に向けて】

- ・ 進行管理方法は、総合計画を予定どおり進めるために重要であるため、全職員対象の研修やワークショップを通して、策定しながら進行管理方法を検討する。

# 佐川町を視察した結果

## ■ 総合計画策定後の住民活動の状況確認

### 【良かった点】

- ・ 「町民が楽しんでいること→まちづくりにつながる」ことを認め、表彰などを通して見える化することで、やる気につながっていた。
- ・ 役場が得意な部分は関わって、活動を手助けしていた。
- ・ お金を儲けることもできる活動もでてきた。
- ・ ウエルカムな雰囲気と、地域毎や団体ごとのライバル心が活動を活発化させている。

### 【悪かった点】

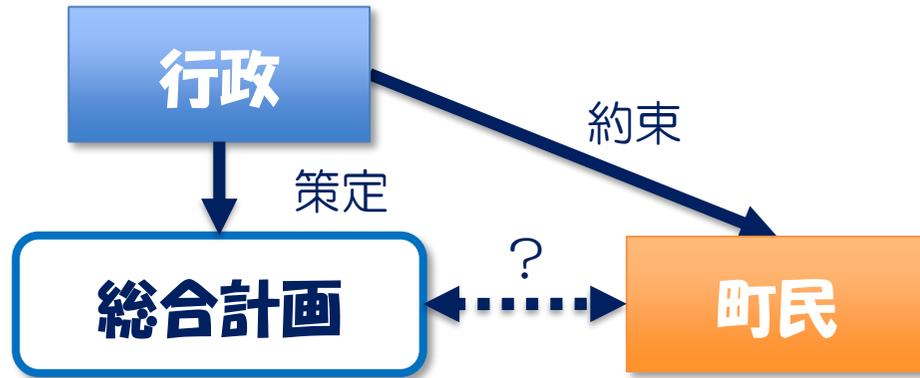
- ・ 活動の手助けに、労力がかかる。
- ・ 総合計画別冊に「住民のやりたいこと」として掲げたものの、進んでいないものもある。（さかわ愛ランド など）

### 【次期総合計画策定に向けて】

- ・ 継続的な住民活動への支援方法も合わせて検討する。

# 見えてきた総合計画の方向性

## 総合計画の現状



### ポイント

- ◆総合計画は行政が町民に対し、将来を「約束」するもの。
- ◆町民の意向は説明会やパブリックコメント等であくまで「意見」として取り扱われていることが多い。

## 次期総合計画の方向性

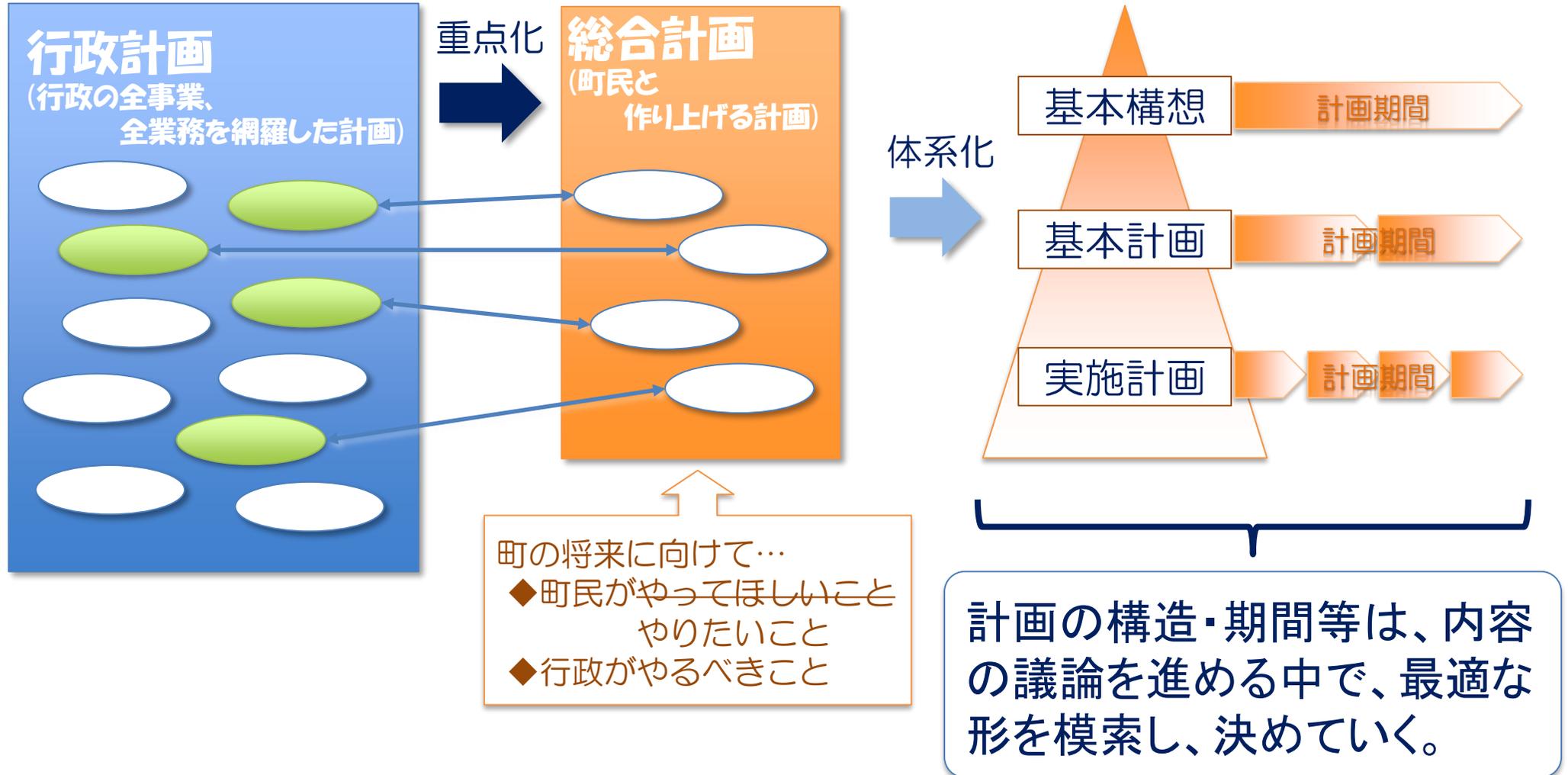


### ポイント

- ◆次期総合計画は行政と町民が将来を「共有」するためのもの。
- ◆ワークショップ等で町民の「想い」を集め、次期総合計画として集約する。

# 見えてきた総合計画の方向性

## 次期総合計画のイメージ



# 見えてきた総合計画の方向性

## 次期総合計画のイメージ

### 住民幸福度を高める計画を策定

#### 住民幸福度調査

幸福度を数値化し、比較することで、寒川町に不足している施策を洗い出す

#### 幸せ講習会 & ワークショップ

幸せと感じるメカニズムを知り、幸せな人生を送るための基礎知識を学び、考える。

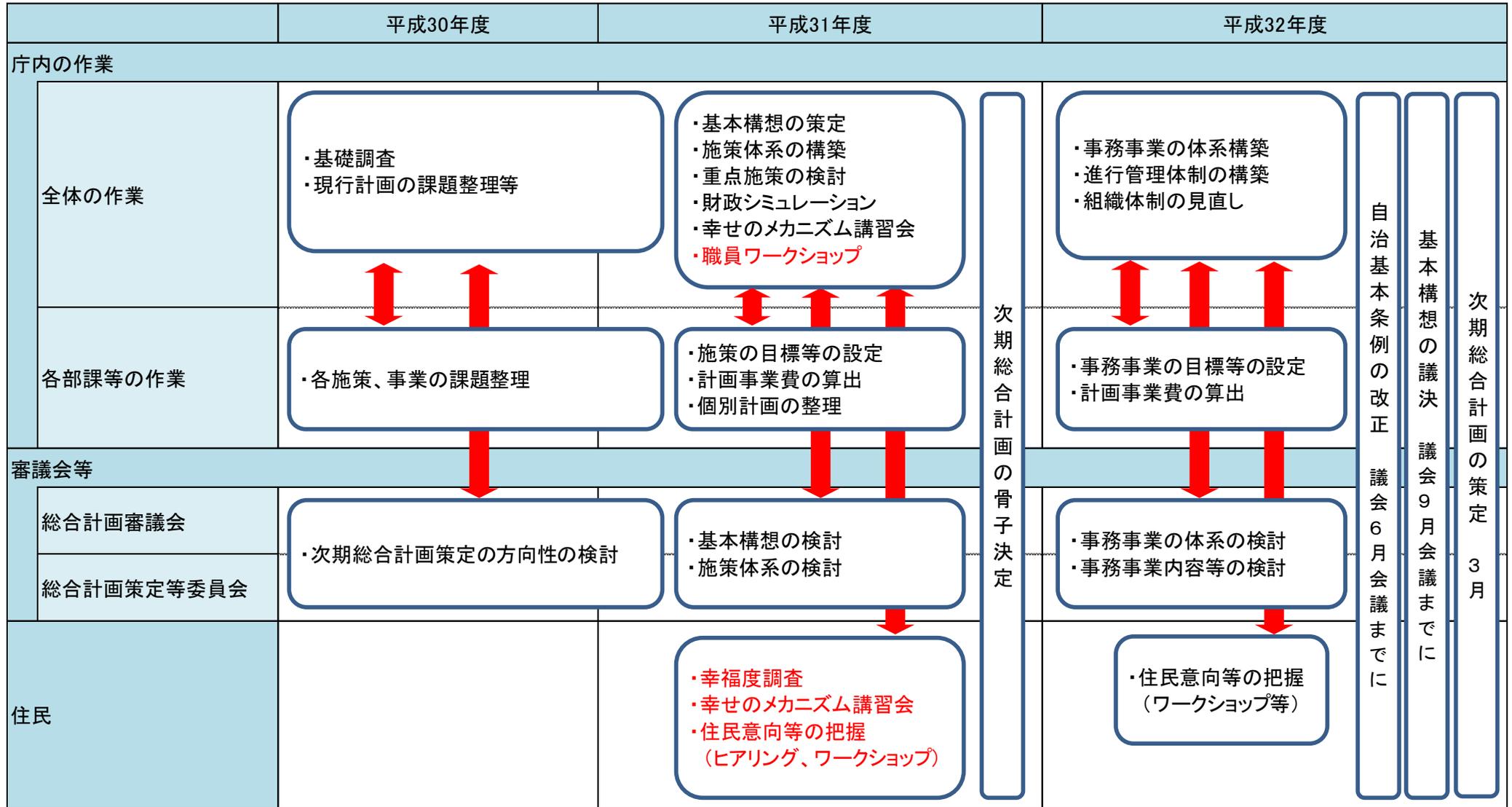
#### ワークショップ

幸せを感じるため、幸せな人生を送るために、自分は何をしたいのか・できるのかを考え、そのために、町に望むことを提案する。

住民幸福度を高めるために、  
町民と町が協力してまちづくりできる計画を策定

# 見えてきた総合計画の方向性

## 次期総合計画のスケジュール



# 見えてきた総合計画の方向性

## 寒川町総合計画審議会の委員構成について

平成30年度		
	選出団体等	氏名
1	町議会の議員	推薦
2	町議会の議員	推薦
3	町議会の議員	推薦
4	町議会の議員	推薦
5	町教育委員会の委員	推薦
6	町農業委員会の委員	推薦
7	関係行政機関の職員	湘南地域県政総合センター所長
8	関係行政機関の職員	藤沢土木事務所長
9	関係行政機関の職員	平塚保健福祉事務所長
10	町の区域内の公共的団体の役員及び職員	湘南地域連合の推薦者
11	町の区域内の公共的団体の役員及び職員	自治会長連絡協議会の推薦者
12	町の区域内の公共的団体の役員及び職員	婦人会の推薦者
13	町の区域内の公共的団体の役員及び職員	商工会長
14	学識経験者を有する者	神奈川県議会議員
15	公募による町民	公募
16	公募による町民	公募

### 平成31年度の体制について

次期総合計画の策定において、見えてきた方向性を実現していくために、審議会の委員構成を見直したいと考えています。

○住民の幸福度を高める計画とするため、専門的知見を有する方（大学教授等）を委員構成に追加する。

○計画の重点化を図るため、個別計画との関係性を整理したうえで委員構成の必要な見直しを行う。